

「土砂災害ハザードマップ」について

「ハザードマップ」とは？ どんな「ハザードマップ」があるの？

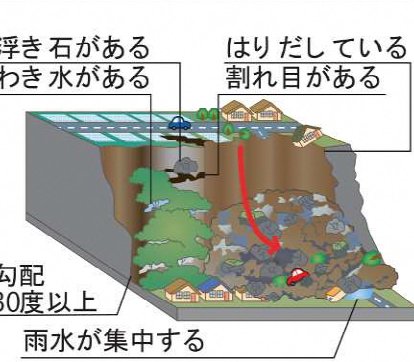
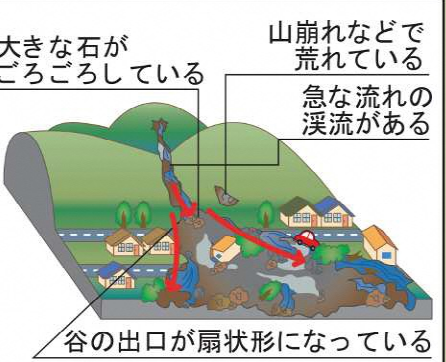
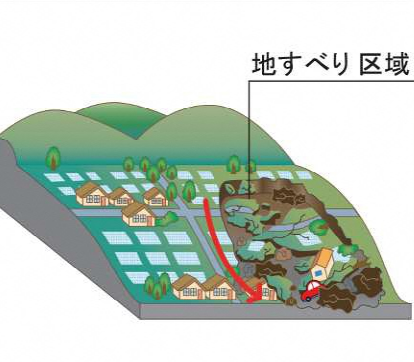
ハザードマップとは、自然災害による被害を予測し、その被害範囲や避難場所等をまとめたマップです。高岡市で配布しているハザードマップの種類は次の通りです。

- ・土砂災害ハザードマップ（本紙）
- ・洪水ハザードマップ
- ・津波ハザードマップ
- ・内水ハザードマップ
- ・地震防災マップ
- ・ため池ハザードマップ

「土砂災害」とは？

大雨や雪どけ水、地震などによって発生する「がけ崩れ」「土石流」「地すべり」といった災害を言います。

土砂災害や、その前兆現象を見つけた際には、市役所までご連絡下さい。

がけ崩れ	土石流	地すべり
 浮き石がある わき水がある はりだしている 割れ目がある 勾配 30度以上 雨水が集中する 雨や雪どけ水、地震などの影響によって、急激に斜面が崩れ落ちる現象です。 突然起きるため、人家の近くで発生すると逃げ遅れる人が多く、大きな人的被害をもたらします。 ！ 前兆現象 ■がけからの水が濁る。 ■小石がばらばら落ちてくる。 ■木の根が切れる音がする。 ■がけに亀裂が入る。	 大きな石が ごろごろしている 山崩れなどで 荒れている 急な流れの 渓流がある 谷の出口が扇状形になっている 山や川の石や土砂が、大雨などにより水と一緒に激しく流れ下る現象です。 流れの速さは規模にもよりますが、時速20～40kmに達し、一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。 ！ 前兆現象 ■急に川の流れが濁り、流木が混ざっている。 ■雨が降り続いているのに、川の水位が下がる。 ■山鳴りがする。 ■腐った土の臭いがする。	 地すべり 区域 雨や雪どけ水が地下にしみこみ、断続的に斜面が滑り出す現象です。 一般的に移動土壌量が大きいため、深刻な被害を及ぼします。また、いったん動き出すと、完全に停止させることは非常に困難です。 ！ 前兆現象 ■斜面から水がふき出す。 ■地面に亀裂、段差ができる。 ■樹木が倒れる。 ■沢や井戸の水が濁る。

避難情報の内容と伝達方法

■警戒レベルと住民がとるべき行動

【警戒レベル3】や【警戒レベル4】で、地域の皆さんで声をかけあって、安全・確実に避難しましょう。

警戒レベル	皆さんがとるべき行動	避難情報など	気象情報など
警戒レベル5 命の危険 直ちに安全確保！	すでに災害が発生、または切迫した状況です。 命の危険があるため、ただちに身の安全を確保 しましょう。	緊急安全確保 ^{※1} 〔市が発令〕	警戒レベル5相当情報 氾濫発生情報 大雨特別警報 など
＜警戒レベル4までに必ず避難＞			
警戒レベル4 危険な場所から 全員避難	速やかに危険な場所から全員避難しましょう。 公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難指示 ^{※2} 〔市が発令〕	警戒レベル4相当情報 氾濫危険情報 土砂災害警戒情報など
警戒レベル3 危険な場所から 高齢者などは避難	避難に時間を要する人（高齢の方、障害のある方、乳幼児など）とその支援者は危険な場所から避難しましょう。 その他の人は、避難の準備を整えましょう。	高齢者等避難 ^{※3} 〔市が発令〕	警戒レベル3相当情報 氾濫警戒情報 洪水警報 大雨警報 など
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップなどにより、 自らの避難行動を確認 しましょう。	洪水注意報 大雨注意報など 〔気象庁が発表〕	警戒レベル相当情報は、皆さんが自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 〔気象庁が発表〕	

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。
※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。
※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

■土砂災害警戒情報



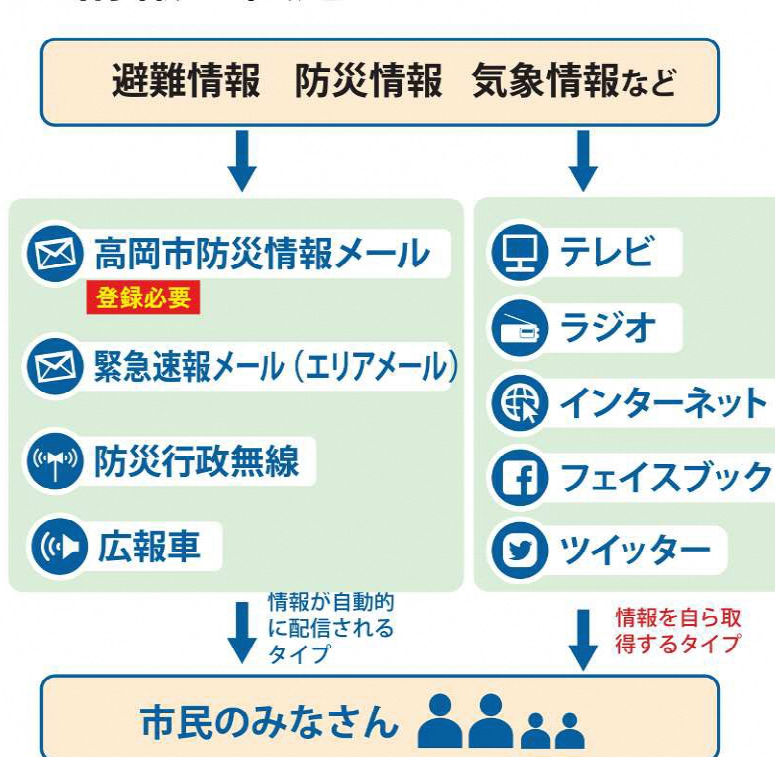
大雨による土砂災害のおそれがあるときは、富山県と富山地方気象台が共同で「土砂災害警戒情報」を発表します。

この情報は、テレビ・ラジオで即時に放送され、さらにインターネットでも確認できます。

留意点

- 避難指示などが必要となる、がけ崩れや土石流を対象としています。（地すべりは対象外）
- 土砂災害警戒情報は確実に土砂災害が起こることを前提として発表するものではありません。

■情報の伝達ルート



日頃の準備と心構え

避難場所は決まっていますか？

市の指定避難場所以外にも、緊急に一時避難する場所を自治会や家族で決めておきましょう。



ハザードマップで危険箇所を知っていますか？

自宅周辺や避難経路上の危険箇所を日頃からチェックしましょう。



前兆現象に注意していますか？

危険な場所には近づかないようにし発見したら市や県へ報告しましょう。



雨に注意していますか？

1時間20ミリ以上、または降り始めてから100ミリ以上の降雨量になったら十分注意しましょう。



避難のポイント

早めの避難を心がけましょう



身の危険を感じた場合は、避難情報を待たずに早めに避難しましょう。

非常持出袋の準備を



非常用持出品はリュックサック等にまとめておきましょう。また、内容を定期的に確認しましょう。

避難は動きやすい格好で



持ち物は最低限とし、両手は自由に動かせるようにしましょう。また長靴ではなく履き慣れた運動靴で避難しましょう。

ひとり暮らしや要配慮者の方はいますか？



一人暮らしや災害時に支援が必要な高齢者・体の不自由な人などの避難には、地域のみんなで協力しましょう。

積極的な情報収集を



テレビ、ラジオ、インターネット等で最新の気象情報や災害情報、避難情報を積極的に入手しましょう。

避難は地域で助け合って



日頃から地域のコミュニケーションをとり、避難の際は地域で声をかけあいましょう。

逃げ方を確認しましょう



災害時には危険箇所には近寄らず、早く土砂災害警戒区域等の外に出ましょう。土石流はスピードが速いため、土砂の流れる方向とは直角に避難しましょう。

逃げ遅れた場合には



土砂災害からは立退き避難が原則ですが、安全に避難できない場合は崖などから少しでも離れた場所へ移動しましょう。（緊急安全確保）

防災情報の収集

※災害時には、混雑してつながりにくい場合があります。

■ホームページ（必要な情報を収集できます）

 富山県土砂災害警戒情報支援システム 【パソコン】http://www.sabo.pref.toyama.lg.jp 【携帯電話】http://www.sabo.pref.toyama.lg.jp/m	 気象庁 気象情報(注意報・警報など) http://www.jma.go.jp/jma/menu/menuflash.html	 富山地方気象台 http://www.jma-net.go.jp/toyama/
---	--	---

■災害用伝言ダイヤル・伝言板（家族と安否情報をやり取りできます）

災害用伝言ダイヤル 171

171にダイヤル

録音は1
再生は2

音声ガイダンスに従ってご利用下さい。

災害用伝言板 web171

<https://www.web171.jp>へアクセス

電話番号を入力 伝言の登録・確認

■メール（災害情報が配信されます）

緊急速報メール（エリアメール）

国や地方公共団体が配信する災害・避難情報を、回線混雑の影響を受けずに特定エリアへ斉配信します。



高岡市防災情報メール

携帯電話やパソコンから、利用者登録を行ってください。携帯電話の方は、右のQRコードからもアクセスができます。



■アプリ（災害情報が配信されます）

Yahoo!防災速報

『Yahoo!防災速報アプリ』から、高岡市を地点登録すると、関係する緊急情報や気象情報等をアプリ側から自動的に受け取ることができます。



富山県砂防モバイルサービス

あなたの携帯に土砂災害警戒情報が届きます



■ツイッター（災害情報が配信されます）

高岡市公式ツイッターページ

「高岡市防災情報」のアカウントでは、大規模な災害発生時などに市から緊急のお知らせを発信します。



防災メモ

○わが家の避難場所	
○緊急時の連絡先	
○家族の集合場所	
○家族の連絡先	
■時間がない場合は、がけや渓流から離れた建物や広場、高台など近くの安全な場所に避難しましょう。	



土砂災害ハザードマップに
関するお問い合わせは

土木維持課
危機管理課

tel: 0766-30-7288

tel: 0766-20-1229